

女性たちの市政懇談会 会議録

日時：令和6年2月6日（火）19：00～20：30

場所：魚津市役所 3階 大会議室

市側出席者：市長・教育長・女性活躍社会推進室長・

民生部長・総務部次長・女性活躍社会推進室長代理

参加者： 40名

（参加団体：cocomama、NAPs、※SODO、魚津市女性スポーツの会、うおづ女性ネットワーク、グループ波
魚津市更生保護女性会、魚津市農業協同組合女性部、魚津商工会議所、魚津市男女共同参画地域推進員）

開催目的	うおづ女性の会連絡会の活動休止に伴い、長年続けてきた市政懇談会も終了することとなった。そこで、女性の声を市政に届ける機会を創出するため「女性たちの市政懇談会」を実施する。
------	---

テーマ：防災を考える ～私たちができること。行政に求めること。～



◆令和6年能登半島地震について 防災危機管理室統括監（女性活躍社会推進室長）

広田 雅樹



ワークショップを始める前に、令和6年能登半島地震の概況及び近隣の被害状況、魚津市の対応状況などについて、資料に基づいて説明。



Aグループ

テーマ	◆災害に対する日頃の備え ◆避難所の運営	
意見	<p>◆災害に対する日頃の備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何も準備していなかった。元日にあわてた。 ・津波から身を守るためには、上に上ること。 ・倒壊を防ぐために、耐震や免振を進める。 ・避難用の防災用品の準備。 (リュックに詰める。ガスコンロ、缶詰なども必要) ・ハザードマップがLINEで見られないのか。 <p>◆避難所の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品があること。現場に備蓄品があるとよい。 ・オムツは子供用と大人用が必要。生理用品 ・更衣室、パーテーション、ワンタッチテントなどがあるとよい。 ・女性の相談に乗れる場所があるとよい。 	 

Bグループ

テーマ	◆災害に対する日頃の備え ◆避難所の運営	
意見	<p>◆災害に対する日頃の備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族との避難場所などをしっかり確認しておく。 ・地域との連携。地域の人たちと顔見知りであること。 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭での備えが大切。 <p>◆避難所の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生環境、衛生用品の確保（高齢者、幼少児） ・弱者対応。高齢者や幼い子に対して声掛け、介護 ・炊き出しなどができる人がいればよい。せっかく材料等の準備がしてあってもそれをする人がいないと避難者に届かないことになる。 ・リーダーシップをとる人がいるとよい。全体としてパニックになっている中、その場をまとめてくれる人がいると安心感がある。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震度4で市役所は大丈夫だったのか？安全な市役所を作ってほしい。 	 

Cグループ

テーマ	◆災害に対する日頃の備え ◆避難所の運営
意見	<p>◆災害に対する日頃の備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から食料品や防寒具などを準備しておく。 ・お風呂の湯を溜めておく。 ・家族の行き先や避難先を日頃から共有しておく。 ・車内に防災用品を備えておく。 ・自家用車のガソリンはこまめに給油することも備えになる。 ・近隣に車で移動できない人がいたら、一緒に乗せて逃げる。 ・ブレーカーを下げてから逃げる。(火事の予防) ・日頃から自分の足腰を鍛えておく。 <p>◆避難所運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営側の人、避難所に到着したとき、「早く開けろ」「遅い」などの罵声を浴びた。今でも夢に見る。家を守る選択肢はなかった。 ・避難所では、人の嫌なところが見えてくることがある。 ・女性が暴力にあいやすい。相談しやすいように、本部受付に女性の担当を配置する。 ・拡声器の音が風などで聞こえにくくなるので、各家庭に防災無線を置くなどしてほしい、 ・受付名簿を用意しておく。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の地震では、命を守るために各々が行動した。それぞれの立場で頑張ったと思う。



Dグループ

テーマ	◆災害に対する日頃の備え ◆自主防災組織への女性の参画
意見	<p>◆災害に対する日頃の備え</p> <p>(家庭での備え)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災リュックの準備 ・食料品等の備蓄をしているが、置き場所を考える必要がある。押し入れに入れておいてもいざという時に取りに行けない。 ・何を備えておくか、置き場所はどこが良いのかなどの家庭での備えに対する防災の講座を公民館レベル単位で実施する。 <p>(地域での備え)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の弱者の把握（高齢者、幼少児のいる家庭、妊婦、ワンオペ育児ママ、転勤族のパパ） ・近所の人情報が大事 ・アパートの住人は、町内会などに加入していない人が多く孤立しがちである。こういう人の方が避難場所や地域の情報を知らないのではないか。 ・繋がっている人でLINE グループを作って連絡を取れるようしておく。 <p>◆自主防災組織への女性の参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも自主防災組織を知らない。 ⇒地域の防災士など防災の知識のある人から学ぶ機会を持つことが大事。各団体の長だけでなく、地域のいろんな人たちにもいろんな機会を通じて必要。若い人たちもそういう知識を持つことが必要。 ・自主防災組織の構成を女性半分、男性半分にしていく。 ・女性の意見を組織の長に堂々と言えるようになることが命を守るために大事。 ・女性特有の主張をはっきりと恥ずかしく言えずに言えること。 ・一人になれる空間は必要。なぜ必要なのかを普段の中で理解してもらうことが大事。



Eグループ

テーマ	◆災害に対する日頃の備え ◆自主防災組織への女性の参画
意見	<p>◆災害に対する日頃の備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練ではない災害にあった。自分は動けなかったが、後日みんなが逃げていたのだと知った。毎年防災訓練している。車の移動をせず、歩いて移動をと訓練していたのに、あれだけの車の移動をしてるのかとか驚いた。訓練と実際は違うことを痛感した。 ・自分の家の海拔を知らない人がいた。 ・家庭での備蓄品のあり方を考える。 ・報道では、今回、避難所では更衣室が作られていなかったと言っていた。 <p>◆自主防災組織への女性の参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織がどのような働き、組織化されているのかを把握していない ・自主防災組織の必要性を強く感じた。自主防災組織に女性を半分入れてほしいなと思った。「入れてほしいな」と言うのは他人事である。自分事として考えること。まず、自分から「入れてください」と、ここに参加した人たちは言ってほしい。行政の方からもそれを後押ししてほしい。 ・自分たちは何もしないのに、鍵が開かないと怒るおじさんたちと一緒にならないようにしたい。



Fグループ

テーマ	◆災害に対する日頃の備え ◆自主防災組織への女性の参画
意見	<p><参加者の震災体験から></p> <p>震災を体験した。宿泊先で地震に遭い、「急いで逃げて」と言われ、外に出た。今度は「津波が来るので、上に上がってください。」と言われ、建物の上の階に上がった。テレビも見られず情報がなかった。</p> <p>地震の時は、携帯電話の回線がパンクし、充電もできない。今の状況が知りたくて、必死に携帯で情報を探していた。</p> <p>あのような地震が、もし、今日起きていたらどうだっただろうか。今回は、家族と一緒にいた方が多かったと思うが、今日の同じ時刻に地震があれば、私と夫は仕事をしている。子どもたちは学校。市外の高校に通学している子は富山駅にいたかもしれない。このようなことを考えると、家族との連絡方法の再確認をする必要があると思った。</p>

備蓄品として、水や食料品などを備えておくことは大事であるが、リュックの中に準備しているものが本当に正しいのか。そのリュックを持って逃げた人がどのくらいいたのか。

命を守るために、その時、正しい行動は何かを落ち着いて考える。心の余裕を持って行動できるとよいと思った。



◆災害に対する日頃の備え

- ・命を守る行動、正しい行動をとろう。
- ・家族との連絡方法などを共有しておく。
- ・備蓄品の備え。リュックの中に何を準備しておくのが本当に正しいのか？
- ・緊急情報サービスの登録、ハザードマップで避難が必要な範囲を確認しておく。
- ・避難が必要か、どこに避難するのが良いのかなど正しい判断ができるような知識を持つことが大事。

◆自主防災組織への女性の参画

- ・そもそも自主防災組織とは何か知らない人が多い。？
- ・婦人会など地域の中でのコミュニケーションや横のつながりが昔ほどなくなってきている。しかし、地域のことをよく知っているのは、女性である。隣の人やスーパーで知人と話す機会が多い。女性ならではの地域の風土や関係を把握しているので、地区のボランティアグループを作ったり、少し心に余裕ができたなら、声をかけたりして地域のつながりができていったらよいと思った。



講評
(市長)

今回の地震のテーマを女性のみなさんと話ができてよかった。
まずは自分の命、家族の命をどうやって守ること
地域であれば、個人個人でやっても大変である。リーダーづくりや学ぶ機会を持つことが大事であると再認識した。
今回の地震は、元旦のこれまでに経験ない揺れ、津波警報といくつものアクターが重なった。全てをまとめて考えると大変だと思っている。
まずは、最初の行動として自分の命、家族の命を守るため、しかも短い時間で何をするかという共通認識を持つことが重要であると思っている。それを地域のみなさんと、お話ししながら考えていく機会を早く作っていきたい。そのうえで避難所の話になるのかと思っている。
たくさんの意見をいただいた。しかし避難所の運営について100%備えることは無理である。時間等によって何が必要かを考えていかなければならない。

Bグループ

災害に対する日頃の備え

B

避難所の運営について

家族

- 集合場所を家族で確認
- 集合場所(仮設)
- 避難場所の確認
- 近隣の避難所情報を得る
- 家族の避難場所を確認
- 家族間の連絡方法を確保
- 水と時間

備え

- 防災グッズ
- 防災バック(用意)
- 防災グッズ(用意)
- 水(心づけて)
- 水の準備
- 水の用意
- 水が足りなくなったら
- 衣(食生活)
- 手ぶらで避難
- 大規模地震・大規模火災・大規模津波

地域

- 近所の人と連絡をとる
- 近所の人と連絡をとる
- 近所の人と連絡をとる
- 近所の人と連絡をとる
- 近所の人と連絡をとる
- 近所の人と連絡をとる
- 近所の人と連絡をとる
- 近所の人と連絡をとる

避難所

- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所

避難所

- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所
- 避難所の場所

備え

- 備え
- 備え
- 備え
- 備え
- 備え
- 備え
- 備え
- 備え

避難所の運営について

- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について

避難所

- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について
- 避難所の運営について

避難所

避難所

避難所

Cグループ

災害に対する日頃の備え

- 日頃の備え
災害時のために
準備しておく
- 家族の備え
- カシリン
半分は入れよう
- 近所の
声かけ
(近所等)
- 車に避難
家の
のせおく
- 日頃家族
で
準備
を
決めておく

避難所の運営について

- 名簿の作成
- カギの担当
- 避難所
運営の方を
同じ担当
者とする
- 女性に
必要
な備蓄
- 水、パン
を用意
- 何ヶ所かに
配る。
(1ヶ所は必ず)
- トイレを開放
分けて使用する
- 備蓄の
管理
分散
させる
- 液体の
整理用品
も準備
- 津波
どまりの
避難所
の
- 公団などに
自力、協助
- 標高を
下ろす
- ブルーカーズ
下ろす
車の
下ろす

Dグループ

災害に対する日頃の備え

家庭の備え

- 家族の人数
- 家族の健康状態
- 家族の年齢
- 家族の職業
- 家族の学歴
- 家族の収入
- 家族の貯蓄
- 家族の資産
- 家族の負債
- 家族のリスク
- 家族の強み
- 家族の弱み
- 家族の得意分野
- 家族の不得手分野
- 家族の得意分野のバックアップ
- 家族の不得手分野のバックアップ
- 家族の得意分野のバックアップのバックアップ
- 家族の不得手分野のバックアップのバックアップ
- 家族の得意分野のバックアップのバックアップのバックアップ
- 家族の不得手分野のバックアップのバックアップのバックアップ

地域での備え

- 近所の情報
- 近所の住民
- 近所の建物
- 近所の道路
- 近所の公園
- 近所の学校
- 近所の病院
- 近所の警察
- 近所の消防
- 近所の消防団
- 近所の消防団のバックアップ
- 近所の消防団のバックアップのバックアップ
- 近所の消防団のバックアップのバックアップのバックアップ
- 近所の消防団のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ
- 近所の消防団のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ

具体的な防災教育!

- 町内の弱者の把握!
- 一人ひとりの把握
- 一人ひとりの把握のバックアップ
- 一人ひとりの把握のバックアップのバックアップ
- 一人ひとりの把握のバックアップのバックアップのバックアップ
- 一人ひとりの把握のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ
- 一人ひとりの把握のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ

自主防災組織の現状把握

- 自主防災組織の現状
- 自主防災組織の現状の把握
- 自主防災組織の現状の把握のバックアップ
- 自主防災組織の現状の把握のバックアップのバックアップ
- 自主防災組織の現状の把握のバックアップのバックアップのバックアップ
- 自主防災組織の現状の把握のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ
- 自主防災組織の現状の把握のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ

自主防災組織への女性の参画

防災に関する知識

- 防災に関する知識
- 防災に関する知識のバックアップ
- 防災に関する知識のバックアップのバックアップ
- 防災に関する知識のバックアップのバックアップのバックアップ
- 防災に関する知識のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ
- 防災に関する知識のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ

地域での参画

- 地域での参画
- 地域での参画のバックアップ
- 地域での参画のバックアップのバックアップ
- 地域での参画のバックアップのバックアップのバックアップ
- 地域での参画のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ
- 地域での参画のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ

女性への参画

- 女性への参画
- 女性への参画のバックアップ
- 女性への参画のバックアップのバックアップ
- 女性への参画のバックアップのバックアップのバックアップ
- 女性への参画のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ
- 女性への参画のバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ

避難生活について

- 避難生活について
- 避難生活についてのバックアップ
- 避難生活についてのバックアップのバックアップ
- 避難生活についてのバックアップのバックアップのバックアップ
- 避難生活についてのバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ
- 避難生活についてのバックアップのバックアップのバックアップのバックアップ

D班

